

# 友野和子



かわせみ通信

No. 11 2026.4



ホームページを  
開設しました！

3月の市長選挙で共産党の新しい市長が誕生しました。議会では SNS での個人に対する誹謗中傷や使い方のルールとマナーを問題提起している最中でした。今年的一般会計予算案に反対した新市長の市政運営は報道や SNS で全国的に話題になっております。

地方では人口減少がすすみ施設の集約化を進めています。清瀬市は近年公共施設の集約化を進め、防災や地域交流の拠点として中央公園に複合施設「まつぼっくる」を2月オープン！観光協会を設立し、夢空間を生かしながら、人のつながりで地域経済の循環を生み出していく予定でした。図書館跡地は検討委員会をひらいて読書サービ等を充実させて市民の学びの環境づくりをしているところでした。これからの清瀬の未来が過去にもどる事を心配しております。



児童館・図書館・市民センターの  
役割をもつ複合施設です。

昨年は市政の状況を十分にお伝え出来なかったことを反省し、新年度はより分かりやすい情報発信に努めてまいります。  
※新しくホームページをかえ、ブログも少しずつ始めております。

2025年  
6月議会  
より抜粋

## ■市歌について

清瀬市には正式な市歌がありません。清瀬賛歌を検討してはどうかと提案しました。

※現在、清瀬市ラジオ体操連盟では清瀬賛歌の体操づくりに取り組み、中央公園のイベントでの披露にむけて練習しております。また秋のラジオ体操大会は、市主催で11月21日(土)にコミュニティープラザひまわりで開催します。



中央公園  
まつぼっくる前のラジオ体操

## ■健康ポイントとボランティアポイントの連携

歩く事やボランティアに参加してたまるポイントの「清瀬市のニンニンアプリ」や「東京都のアプリ」との活用で、ボランティアで体を動かして心の健康をひろげる仕組みを繋げる事を提案しました。携帯の東京アプリではボランティアに参加するとポイントがもらえて、都内のイベントや施設利用にも使えます。

※東京アプリでは、2027年3月末まで11000ポイントがもらえます。

東京都公式アプリ  
東京アプリ



2025年  
9月議会  
より抜粋

## ■ 職員の働き方改革

共働き夫婦への子育て支援として育児休暇を出産後の一年間の選択のみではなく、就園までの期間の週休3日制への選択の導入を考えてみてはどうかと提案しました。

## ■ 平和への取組み

終戦80年を迎えて、平和の大切さについて改めて考えました。昨年行われた平和祈念事業では、福亀丸の話やシロアベアテさんと清瀬との繋がりを改めて知りました。平和とは過去歴史を知った上で、自分の与えられた人生の中で未来につなげるものを生み出せるかということが大切なのではないかと考えております。今後も市民参画の平和祈念事業を見守りたいです。

2025年  
12月議会  
より抜粋

## ■ 情報リテラシーと防犯

インターネットや SNS を使った詐欺被害が増えています。子どもたちが闇バイトなど犯罪に巻き込まれないように指導する事を要望。特に「+」から始まる国際電話には注意が必要です。市の詐欺対策講座や携帯のデジタルポリスのアプリの導入などを活用し、防犯意識を高めましょう。

警視庁防犯アプリ  
「デジポリス」



## ■ 文化・まちづくりの提案

市民と共につくりあげてきた小平のグリーンロード灯り祭りや北区の文化交流まつりを取り上げ、北側の下宿の灯籠まつり、南側中央公園の地域の特色を生かした多文化の市民参画型イベントを提案しました。また3月議会では清瀬のランドマークとなる「夢空間の活用について」レストラン以外での収入として、コラボ企画や推し活を導入してゆく方法や、デジタルを活用した文化交流を提案させていただきました。



下宿灯籠祭り

ついに歴史的価値の高い列車が復活!



夢空間レストランは、  
5月よりオープン。  
予約受付中。



## 活動報告

令和7年度より、建設環境常任委員会に所属し、新たな分野について学んでいます。



## 多摩北部都市広域行政圏協議会 について

多摩北部5市による広域連携では「みどりと生活の共存圏」をテーマに第5次のプランづくりが進められています。昨年は小平市での多摩5美術展や小平合唱団演奏会、東久留米市でのぴゅああ〜と展 清瀬市での多摩六都高校生写真展などに参加しました。審議会会長として今後広域の文化事業や交流活動に参加し、広い視点で清瀬の魅力を見つめ直していきます。

